

大分市地域まちづくりビジョン

大分東部地域ビジョン会議 通信 第2号

発行：大分東部地域ビジョン会議事務局

この通信は、地域ビジョン会議の内容について地域の皆様にご報告するとともに、地域の現状や課題、将来像について共有していただくために発行いたします。

地域ビジョン会議の目的

本市においても、今後、人口が減少に転じることが予測され、地域コミュニティの活性化や効率的な行政運営など諸課題への対策が求められています。

これら課題の解決には、行政が市民の意向や地域の実情を的確に把握し、市政への反映に努めることが重要です。

このような中、市内13地域において、地域の代表者等で構成する『ビジョン会議』を設置し、議論を深めそれぞれの特性を踏まえた「地域まちづくりビジョン」としてご提言いただきます。

第2回大分東部地域ビジョン会議



■平成29年7月24日(月)19:00~

■大分東部公民館
開会

一、会長挨拶
二、議事

- 1.第1回ビジョン会議の整理
委員発言要旨のまとめ
地域ビジョン会議ニュースの発行について
- 2.これからのまちづくりについて
大分市立地適正化計画について
- 3.グループワーク

三、その他
閉会

これからのまちづくりについて

事務局よりこれからのまちづくりについて各計画の説明を行いました。

1. 大分地区における都市計画について(都市計画マスタープランの概要)

JR大分駅南北を中心とした市街地は、大分都市計画区域の商業・業務の中心地であり、本市のみならず、県都、さらには東九州の重要な拠点にふさわしい規模、質を兼ね備えた商業・業務都心を形成することが期待される地区です。

商業・業務都心の外側に位置する西大分、南大分地区などには、湾岸交流拠点、健康文化拠点などにふさわしい各種機能を配置し、商業・業務都心と連携した広域都心を形成します。

また、本地区の西側に広がる丘陵地や中心市街地直近の都心の森など、緑とも調和したうるおいのある市街地の形成を図るべき地区です。

このようなことから本地区は、「緑あふれる広域都心の形成」をまちづくりの目標とします。

2. 大分市立地適正化計画について

大分市では、昭和39年の新産業都市の指定後、急激な商工業の発展と人口増加にあわせて、市街地が拡大し、都市基盤施設の整備などを推進してきたことにより、拡散型の土地利用が進行してきました。そのため、今後、少子高齢化等の進展による人口減少および人口密度の低下に伴い、税収の減少による財政規模の縮小、生活利便施設や公共交通の縮小、地域コミュニティ機能の低下等が予測され、人々の暮らしに様々な影響を及ぼすことが懸念されます。

高齢者や子育て世代にとっては、安心できる健康で快適な生活環境を実現すること、財政面及び経済面において持続可能な都市経営を行うこと、公共交通等の効率化により低炭素型の都市構造を実現すること、災害から人命を守ることなどを推進していくため、都市の基本構造の在り方の見直しを行うなどの、集約型都市構造へと転換する必要があります。

以上のことから、都市機能や居住の誘導に関する具体的な方策の検討を行い、都市再生特別措置法第81条に基づく「立地適正化計画」について、平成30年度末の公表を目指して作成を進めています。



グループワークの流れ

【ステップ1】 重みづけ



【ステップ2】 ブレインストーミング



【ステップ3】 親和図作成



まちづくりのコンセプト (理念)成果発表



【ステップ1】重みづけ(地域が重点的に取り組む施策の傾向を読み取る)

委員の皆様には、3班に分かれていただき、大分市総合計画の6つの「基本的な政策」に対し、ふだん気になることや問題に思っている重点項目に一人5枚のシールを貼っていきました。

《1班:安心安全福祉のまち》 班長:豊田委員より発表

班名は、「安心安全福祉のまち」です。健やかでいきいきと暮らせる、温かさあふれるまちづくりの項目に多くの得票が入りました。次に3番の安全安心を身近に実感できるまちづくり、防災安全の確保にも多くの点数が入っています。大きく3つの項目に多くのポイントが入っています。このことを集約し、安心安全福祉のまちづくりというテーマを掲げたいと考えています。具体的に見ますとやはり子育て、それから高齢化社会に対し問題意識が大きいのではないかと考えられます。続いて豊かな人間の創造、生きる力を育む学校教育の充実、子どもたちの学びを支える教育環境の充実が2番に多く、3番に安心安全を身近に実感できるまちづくりで、やはり防災危機管理の確立に皆さんの興味が有りました。



【ポイントの多く入れた項目】

- 子ども・子育て支援の充実・高齢者福祉の充実・障がい者(児)福祉の充実・・・(5)
- 防災・危機管理体制の確立・・・(5)
- 子どもたちの学びを支える教育環境の充実・・・(3)

《2班:地域コミュニティ班》 班長:小野委員より発表

班名は、「地域コミュニティ班」です。皆さんが一番重要と思っていることは、福祉関係の子育て支援、高齢者福祉、スポーツに関すること、もうひとつは防災に関すること、そういったものについて皆さんが考えているようです。

地域コミュニティについては、皆さんに問題意識があるのかなという思いから「地域コミュニティ班」と名付けました。

特に皆さんの意識の高い防災危機管理体制の確立、それからスポーツの振興、社会福祉では子供子育ての充実、高齢者福祉の充実、障がい者福祉の充実といったことを今後話し合っていければと思います。



【ポイントの多く入った項目】

- 防災・危機管理体制の確立・・・(5)
- 子ども・子育て支援の充実・高齢者福祉の充実・障がい者(児)福祉の充実・・・(4)
- スポーツの振興・・・(3)

《3班:グリーンシティ東部》 班長:河野委員より発表

環境が非常に恵まれているという意味で「グリーンシティ東部」と班名を付けました。全体の投票の結果は基本的な施策のなかでは、福祉の充実という点、次に「教育・文化の振興」の項目に多くの得票を集めています。その他安全面では防災力の向上の点に入っておりますし、将来にわたる都市基盤の形成のところでは、安全で快適な宅地、公園、緑地のところに票が集まっております。また、交通体系の確保や情報化の推進のところにも票が入りました。全体としては安定的な生活の面に重点が置かれていると思いますし、またその中でも将来の人材育成、子供の教育、あるいは社会教育の推進という点にも非常に意識が高いと思いました。



【ポイントの多く入った項目】

- 子ども・子育て支援の充実・高齢者福祉の充実・障がい者(児)福祉の充実・・・(3)
- 生きる力を育む学校教育の充実・・・(3)
- 安全で快適な住宅の整備・公園・緑地の保全と活用・・・(3)

【ステップ2】ブレインストーミング(思いついた地域の魅力や課題を書き込む)

【ステップ3】親和図作成(問題点と課題点の整理)

各班で、思いついた地域の魅力や課題をポストイット(付箋紙)に書き込み、親和図に共通点を施策単位でまとめ、コンセプトを考えました。

《1班:安心安全福祉のまち》 施策毎のポストイットの内容

- 福祉・・・(8)
 - ・ウォーキングを高齢者と子どもと一緒にする・高齢者が安心して乗れる乗り物を考える
 - 作る・高齢者(若い)の知識や技術を地域に還元してもらう 他
- 教育・文化・・・(5)
 - ・大分東部の子どもの学力向上の工夫・新日鉄住金があるので鉄のアート作品を公募する・裏川河畔にアート作品を展示する・大分東部地域ジュニアビジョン会議を開催する 他
- 防災・・・(5)
 - ・防災に対する考え方、現状の訓練では役に立たない・消防団の維持、管理をする人材の確保・津波発生時の迅速な避難、お年寄りや子ども、不自由な方の手目かけ(特に海が近い地域) 他
- 産業・・・(6)
 - ・雇用を促進する取り組み・シャッター商店街をなくしたい・大きな商業施設がほしい 他
- 都市・・・(7)
 - ・交通量が多くて危険・スクールゾーンがない・千歳の道が暗い(森が多い) 他
- 環境 「ゴミ0に」・・・(3)
 - ・公園にゴミ箱を・・・ゴミ問題 現状のままでは行き詰まる、長期的な改革が必要 他



《2班:地域コミュニティ》 施策毎のポストイットの内容

- 福祉 「明るいまち、笑顔のまち」・・・(4)
 - ・地域の方たちとの交流が多い(萩原)・コミュニケーション不足・世代間交流を盛んに・挨拶のかわせる街 他
- 教育・文化 「スポーツ・教育・文化を基軸にした地域づくり」・・・(7)
 - ・地域、学校、PTAの連携・公園での子どもの遊びの管理がなされていない・スポーツを通じた多世代交流推進 少年野球、ソフトボール、バレーボール、サッカー等 他
- 防災 「助けあい・思いやり」・・・(5)
 - ・4地区校区の防災活動の共有化・災害時の身体の不自由な方の避難の仕方・津波の場合の避難場所の確保・交通安全活動 地域と企業の共同作業・災害対策が空回りになっている気がする 他
- 産業・・・(0)
- 都市 「歩行者へのやさしさ」・・・(10)
 - ・通学路がせまい・安心して子どもが外で遊べる街 今は少し不安あり・交通体系 JRの利用を便利に・道路への交通標系 他
- 環境・・・(3)
 - ・空気悪い・乙津川から鳥が消えた 自然を大切にする・南部台地斜面の緑を生かす 他



《3班:グリーンシティ東部》 施策毎のポストイットの内容

- 福祉・・・(12)
 - ・高齢者とのふれあい・小学校と合同の運動会(地域)・子どもと交流を通じて親との絆を深めて共に子育てをする・地域コミュニティの強化 他
- 教育・文化・・・(5)
 - ・教育レベルが低い・子どもの心の豊かさ・元気な子どもたち・地域にある高校(5校)と地域の交流を進めたい・人の気持を解る子どもの育成を進める・元気な子どもたち
- 防災・・・(5)
 - ・河川の氾濫が心配・避難体験・サバイバル体験・丘地の広い地域の洪水、津波対策
- 産業 「新日鉄と共に」・・・(2)
 - ・新日鉄の夜景がきれい・新日鉄緑地帯の育成、整備もっと広く、大きく
- 都市・・・(4)
 - ・通学路がせまい・駅が2つ有りバス停も多く交通の利便性が良い・空き家が多くなった・津留・舞鶴小学校 グリーンゾーンが少ない 他
- 環境・・・(8)
 - ・大分川、裏川沿いの緑地を大事にしたい・平和市民公園や大洲運動公園を地域のシンボルに・地域で共同して裏川の環境改善に取り組みたい・日岡公園の整備・大分川原を整備して住民に親しまれるゾーンに・大分川の桜が好き・大分川からの夕日美しい 他



まちづくりのコンセプト(理念)成果発表

各班長がそれぞれの意見を取りまとめたコンセプト(理念)の発表をおこないました。

《1班:安心安全福祉のまち班》

コンセプト: 三世代元気で思いやりのあるひとづくり・まちづくり



私たちの班名は、「安心安全福祉のまち」ということで色々なアイデアを出してきました。福祉では、様々な技術、知識をもった高齢者の方方を要望があれば紹介してくれるバンク(銀行)みたいなものを作ったらといった意見が出ました。教育文化では、子どもに自信を付けてもらいたい。教育に力を入れてもらいたい。企業と協力し全国規模の鉄をテーマにアート作品を募集しアートの関係を教育に取り込む。津波発生時の迅速な避難(お年寄りや子供、不自由な方の手助け。特に海が近い地域)、産業では、商店街のシャッター街対策、都市基盤では、スクールゾーンの問題。環境面ではゴミ出しのマナー向上によるゴミゼロの方向に努力しよう。最終的にコンセプトとして出てきた言葉が「三世代元気で思いやりのあるひとづくり・まちづくり」ということになりました。

《2班:地域コミュニティ班》

コンセプト: 新日鉄住金とともに! ~地域と行政と企業の共生~



4つの議題がありました。まず福祉でいい意見が多くでました。コミュニケーション不足とか挨拶のかわせる街などの意見がありました。これらをまとめると「明るい街笑顔の街」。つづいてスポーツ、文化、教育に関して、環境と同じで「スポーツ教育文化を基軸にした地域づくり」。続いて防災安全ですね。この中でもいろいろ意見がでたのですが、助け合って思いやりのある地域にしたいという意見がでました。最後に都市基盤ですね、多くの通学路に関して、通学路が狭いと意見が出ました、歩行者への思いやり、歩行者への優しさが重要ではないのかなということです。最後に産業ですが、産業は全くでませんでした。うちの地域には素晴らしい、地域にすごく協力してくれる会社があるので、「新日鉄住金とともに」ということで、コンセプトとさせていただきます。

サブタイトルに「地域と行政と企業の共生」と付けました。

《3班:グリーンシティ東部》

コンセプト: 緑豊かな東部地区子どもと高齢者にやさしいまちづくり



僕たちは「グリーンシティ東部」という班の名前で進めてきました。先にコンセプトからいうと「緑豊かな東部地区子どもと高齢者にやさしいまちづくり」ということで話がまとまりました。その中に福祉では「萩原のお祭りが楽しい」とか「小学校と合同の運動会がある」とか、あと津留地区は「津留は一つ」という言葉があったり、福祉また地域コミュニティの活性化の部分が地域の強みです。環境もこの地区はとても公園が多い、桜並木がすごくきれい、河川数が整備されていたりとか、緑豊かな環境、これらを踏まえたうえで、環境が整っていて、緑が周りにたくさんある。生活している私達は、心豊かで少し心にゆとりを持って生活できている。そこに住んでいる子供たちや高齢者が今以上にふれあいながら、素敵なまちづくりができていったらなという思いでこのコンセプトとなりました。